



令和8年度 常総市立石下小学校 グランドデザイン



教育目標 一人一人を大切にしたい児童が中心にいる教育活動を通し、仲間とともに前向きにチャレンジできる児童を育む。

学校経営の理念

学校における全ての教育活動は児童の心身を涵養する(子どもが育つ)ものであることを認識した上で、自己有用感を高揚させ人権教育を基盤として、教職員一人一人の専門性を生かし、児童一人一人を大切にしたい教育活動の実践を通して学校教育目標を達成する。

みんなの合い言葉

元気にあいさつ・助け合い・みんな仲よし石下小

組織目標

互いのよさや考えを認め合える環境のもと、児童中心の教育活動を通し、自ら考え行動できる児童の育成を図る。

めざす学校像

信頼される学校

- 【明るく楽しい学校】
- 【安全で美しい学校】
- 【地域に開かれた学校】

経営の重点

- ・探究的な学びの推進 (各教科指導における「問い」、振り返りの研究)
- ・児童の主体性の自覚とその活動の推進 (学級活動の時間の充実、各種児童集会)
- ・豊かな心と将来への夢を育む教育の推進 (心の居場所づくり、温かな人間関係づくり)
- ・健康と体力を育む教育の推進 (生涯にわたる健康の保持増進のための基礎づくり)
- ・特別支援教育の充実 (UDや合理的配慮の視点での授業づくり、チームとしての支援体制づくり)



めざす教師像

信頼される教師

- 【おもんばかりの教師】
- 【自覚と誇りをもつ教師】
- 【共通実践できる教師】

めざす児童像 自分から進んで行う児童

【自ら学ぶ子】

児童が中心にいる授業づくり

- ① 教科における探究的な学びへの取り組みの推進
正解が一つにならない「問い」を合意形成する
「なぜ～だろう」「どうしたら～だろうか」等
- ② 各教科と生徒指導を一体化させた授業づくり
共感的な人間関係(相手の意見に関心を寄せる)、自己決定の場(発表・対話・制作活動)を意識した授業の展開
- ③ 「石下小スタイル」の徹底(見通しのもてる授業展開)
振り返りの重視(記述モデル例の設定)
- ④ 一人一台端末を活用した家庭学習への取組の推進

【思いやりのある子】

児童が中心にいる活動・場の工夫

- ① 人権教育の充実
一人一人を大切にしたい学年・学級経営の充実、相手意識の自覚の向上、折り合いをつける人間関係の構築
- ② 自己肯定感・自己有用感を育む教育活動の充実
学級活動の充実、児童主体に取り組む委員会活動の推進
- ③ 元気にあいさつと歌声の響く学校への取組
児童主体のあいさつ運動、音楽部による朝の合唱指導
- ④ 道徳教育の充実
考え・議論する道徳への質的転換学び合う場の設定の工夫
スクールロイヤー・SC と連携した心の教育

【心と体を鍛える子】

生命第一とした体育・保健安全

- ① 体力・運動能力の向上
運動量確保・内容充実、体育的行事の改善・充実
- ② 健康教育の充実
保健学習の充実、食育の充実
- ③ 安全教育の充実
防災・避難訓練(災害・不審者)、交通安全教室・鉄道教室、SNS講演会の充実、いのちの教育
- ④ 家庭との連携
早起き早寝の啓発、検診後の保健指導、すくすく教室

■保護者・地域との連携強化

- ・児童一人一人のための保護者・地域との丁寧なかかわりの強化
- ・学校評価を活用(年2回)したPTA役員・学校評議員等との連携
- ・各種たより、ホームページ等による積極的な情報発信



保護者・地域

関わりを大切にします

■地域の教育力の活用

- ・石下小見守りボランティアと連携した登下校時の安心安全の確保
- ・地域学習等での校外学習の充実
- ・授業の支援・体験活動の支援

■校内研修の充実

研究主題「振り返りの工夫を図り主体的な学びを深める児童の育成」～石下小スタイルによる授業改善を通して～

- ・石下小ふり振り返りシートの活用
- ・算数以外の教科においても石下小スタイルによる授業展開を推進する

■保幼小連携及び石下中学区小中連携の推進

- ・幼児児童生徒及び教職員の交流(相互授業参観、合同避難訓練など)

■働き方改革とコンプライアンスの推進

- ・勤務時間の管理と適正化(定時退勤日:月3日以上取得)
- ・ボトムアップ型の月例ミニ校内研修・通知文書の電子配信の促進



教職員

授業力・指導力を高めます